

野田の郷便り (令和5年4月号)



4月の行事計画

- ★ ビューティーヘルパー: 13日・14日
- ★ 誕生会: 16日
- ★ 茶話会: 23日

- ★ 集団レク: 2日(風船バレー)
9日(魚釣り大会)
16日(ペットボトル当て)
23日(輪投げ)
30日(的当てゲーム)



- ★ リハビリ: 11日(ひまわり)
18日(たんぽぽ)
25日(なのはな)



- ★ 体重測定: 2日(たんぽぽ)
9日(ひまわり)
16日(なのはな)

令和5年度 家族会開催中止のお知らせ

ご家族の皆様方には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素から施設の取り組みにご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

毎年4月に開催しておりました家族会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今年も中止させて頂く事となりました。

令和5年度家族会資料を同封させて頂きますのでご確認をお願い致します。



お花見の由来

お花見は、日本人が昔から楽しんできた春の行事です。桜以外の花を見に行くときは「梅見」「観梅」「観菊」などとその花の名前をつけて表しますが、桜の花を見るために野山に出かけることは「花見」と呼ぶことから、昔から日本人にとって「桜」は特別な花でした。

桜は、春になって山からおりてきた田の神様が宿る木とされていたため、桜の咲き方でその年の収穫を占ったり、桜の開花期に種もみをまく準備をしたりしていました。

「サクラ」の語源には諸説ありますが、一説によると「サクラ」の「サ」は田の神様のことを表し、「クラ」は神様の座る場所という意味があり、「サクラ」は田の神様が山から里に降りてくるときに、いったん留まる依代(よりしろ)を表すとされています。また、桜の花が稲の花に見立てられ、その年の収穫を占うことに使われたりしていたため、「サクラ」の代表として桜の木が当てられるようになったという説もあります。

レクリエーションの様子

